

出張報告書

平成30年 3月27日

職氏名 市議会議員 浦岡昌博、藤村博美 恵良健一郎、平田陽道、前東直樹	用務 不登校への取り組みについて 下関港新港地区整備要望
期間 平成30年 3月25日から 平成30年 3月26日まで	出張先 葛飾区新小岩3-25-1 東京シューレ葛飾中学校 国土交通省 港湾局

意見・調査事項

3月26日(月)

9:30~10:50

不登校への取り組みについて

東京シューレ葛飾中学校視察

東京シューレ葛飾中学校はNPO法人東京シューレが特区による学校づくりを検討し、学校法人を取得し、葛飾区の「地域連携・のびのび型学校による未来人材育成特区」を活用して2007年4月に開校した私立の中学校である。

文部科学省の「不登校児童生徒等を対象とした特別の教育課程の編成」指定を受け年間総授業時数を770時間としている。(標準980時間)
校舎は廃校を活用し、会議室などは地域にも開放されている。

設立のきっかけは、フリースクールは学校制度外であるため学校教育法しかない日本ではフリースクールでは卒業資格を出すことができず、公的資金の援助もなく不利益がたくさんあったため、フリースクールのような子ども中心の教育が子どもの安心や意欲を引き出すなら、そのような学校を作ればいいのではないかと奥地理事長が考えたことがはじまりであった。

現在の学校教育に馴染めない、ついていけず不登校となった子供たちに対し、子どもはかけがえのない生命を持った存在であるとの精神のもと、どこまでも子供たちのペースに合わせ、学校に来れない子は在宅でSSWが家庭訪問をしながらのカリキュラムもあり、無理のない指導を行っている。

卒業後は、8割以上の子が進学しており、社会でしっかりと働いている。

下関市においても不登校対策の取り組みを行っているが、支援教室に通えない子への支援や、フリースクールに通う子への支援などきめ細かい伴走型の支援ができるよう、今後も取り組んでいきたい。

13:30～14:00

要望先：国土交通省港湾局 菊池港湾局長

要望事項：下関港新港地区（長州出島）における第2バース岸壁整備の早期事業化について

陳情者：梶屋敬悟衆議院議員、浦岡昌博、藤村博美、恵良健一郎、平田陽道、前東直樹、工藤港湾局長 7名

陳情者7名にて国土交通省港湾局菊池港湾局長を訪問し、下関港新港地区（長州出島）における第2バース岸壁整備の早期事業化について要望書を手渡した。

クルーズ客船の寄港回数増加や新規コンテナ船の就航など長州出島の利用増加に伴い、岸壁や岸壁背後の荷捌きのスペースが不足しているため、早期の事業化、整備をお願いした。

その他、石井国土交通大臣、秋元国土交通副大臣、高橋国土交通政務官、馬場埼大臣官房審議官（港湾）、浅輪大臣官房技術参事官（港湾）、堀田港湾局計画課長にも秘書等を通じて要望書をお渡しした。

